



令和元年度新潟県歯科保健協会長表彰

歯科保健活動に10年以上寄与し、その功績が顕著であり、将来も引き続き優れた活躍が期待される個人及び市町村、企業等の団体を表彰するものです。今年度の受賞者は下記の方々です。

【個人の部】(敬称略)

- 竹内 博文 (糸魚川市・歯科医師)
- 小林 茂広 (長岡市・歯科医師)
- 中島 雅之 (南魚沼市・歯科医師)
- 長谷川 寛 (五泉市・歯科医師)
- 今村 麻枝男 (新潟市・歯科医師)



令和元年8月31日(土)新潟県歯科医師会顕彰式にて表彰が行われました。

【団体の部】(敬称略)

- 社会福祉法人大地会 山五十嵐こども園 (新潟市)
- 社会福祉法人啓真会 大友中央保育園 (新潟市)



令和元年度よい歯のコンクール

令和元年7月11日(木)、新潟県歯科医師会館において、審査が行われ、以下のとおり入賞者が決定しました。

◎親と子のよい歯のコンクール

平成30年度に3歳児健診を受けた幼児とその親のうち、親子ともに健康なお口の状態を保っている方を表彰するものです。

(敬称略)

- 最優秀賞** 石田 しのぶ・壮司 (上越市)
- 優秀賞** 中田 千秋・冬花 (三条市)
- 小林 あゆみ・椿 (糸魚川市)
- 藤田 愛・輝 (佐渡市)
- 高見 可奈子・旭 (長岡市)
- 池野 みどり・のどか (阿賀野市)

◎いきいき人生よい歯のコンクール

満80歳以上の方を対象に、20本以上自分の歯があり、健康なお口ではつらつと過ごされている方を表彰するものです。

(敬称略)

- 最優秀賞** 江口 賢治 (妙高市)
- 優秀賞** 田邊 寅治 (新発田市)
- 山岸 博子 (新発田市)
- 小林 則子 (妙高市)



令和元年11月15日(金)「新潟県よい歯のコンクール県知事表彰表彰式」にて最優秀賞受賞者の表彰が行われました。

～ よい歯のコンクール応募状況 ～

- 親と子のよい歯のコンクール
3歳児歯科健診受診者数 16,167名、県審査数 7組
- いきいき人生よい歯のコンクール
応募者数 13名

新規事業

県委託・デンタルヘルスサポート事業

青少年期以降の切れ目のない歯科保健対策を推進するため、県内大学・専門学校よりモデル校を選定し、社会人になる前の若い世代から、シームレスな歯周病予防のための保健指導や情報提供等を行うとともに、生涯を通じた効果的なアプローチ方法の検証を行っています。



実施内容

アンケート調査

紙又はWebのアンケートで学生の口腔衛生習慣や歯科保健知識について調査します。



歯科保健指導

個別又はグループで歯科衛生士による保健指導を行います。



歯科健康診査

歯科医師による口腔内診査を行います。



インタビュー(ディスカッション)

歯科保健について関心を持っている事項や、若い世代への効果的な情報発信方法についてインタビューやディスカッションを行います。



イベント参加

当協会では、公益活動として、地域で開催されているイベントにも参加しています。

今年度はBSN夏ラジオ2019に参加し、歯科保健ブースを出展しました。

- 実施内容 ・ガムを用いた咀嚼力の検査
- ・歯科相談



【イベント参加の様子】

当協会では歯科衛生士による、教育現場や介護予防教室での歯科保健講話、企業向けの歯科健診や講話等も実施しています。詳細はホームページをご覧ください。